



学校だより

第1号

令和5年7月20日発行

神奈川県立えびな支援学校

コロナが5類になり日常を取り戻し始めた1学期。交流も再開し、6月には中新田小3年生が町探検で来校しました。見学後、体育館でパラバルーンなどを行い、歓声があがっていましたが、その活動を手伝ってくれた高等部生徒の頼もしい姿を見て、とてもいいなと感じました。ちょっとした「仕掛け」があればよい関わりが生まれるのですね。コロナ前に本校で行われていたサロンもそんな「仕掛け」の1つでした。地域の方、保護者の方、各学部の子供達が訪れ交流し、高等部生徒(喫茶班)が働く経験を積む素敵な空間でした。再開が楽しみです。コロナ後、復活するもの、新しくなるものなどありますが、どちらも子ども達の学習をより充実させていくものとなるようにしていきたいと思います！(B小中学部長 土井下)

B部門 小学部1年生



4月から始まった、えびな支援学校での新しい生活。はじめての教室、はじめての友だち、はじめての先生にも少しずつ慣れ、元気いっぱいな声が教室から聞こえてきます。学校中の児童生徒や先生からも声をかけられ、日々成長していく姿を見守ってもらっています。

授業では、サイバーホイールや乗り物遊具での遊び等を通じて楽しく体を動かしたり、「ことば・かず」の学習でカラーボールの色分けをしたりしました。2学期も楽しいことがいっぱいあります。たくさん遊んでたくさん学ぶ。一人ひとりの個性が輝き、笑顔あふれる毎日を送れるよう、これからもたくさんのご経験していきたいと思います！



B部門 中学部3年生



B中学部3年生は6月14日(水)から16日(金)に名古屋方面へ修学旅行に行きました。天気にも恵まれ、3日間ともに予定通り活動することができました。

1日目は名古屋港水族館、2日目はリニア鉄道館、愛知牧場、3日目は名古屋城見学を行いました。名古屋港水族館では、イルカショーを見ながら昼食を食べた後、本物のシャチの大きさに驚いたり、ペンギンに会えたりとみんな大喜びでした。リニア鉄道館では切符作り体験をし、ドクターイエローやリニアの車両を見学しました。愛知牧場ではおいしいアイスを作りました。最終日は、忍者や名古屋城と記念撮影をしました。夜はホテルでのんびり過ごし、買い物や温泉も満喫しました。また3日間、えびふりやみそかつなどの名古屋めしも食べるのができ、みんな大満足でした。

あっという間の3日間、素敵な思い出ができました。たくさんのご協力ありがとうございました。



A部門 高等部



6月12日(月)～23日(金)の2週間、A高の校内実習「みい〜と」がありました。予約の電話をかけて公共交通機関を利用したり、「アート」「あぐり」「ムーブメント」などを通して社会参加につながる体験をしたり、中央農業高校や近隣公園を散策したり、B高等部や中央農業高校の生徒と一緒に活動したり…一人ひとり、卒業後の生活を想定して、人や社会とかがわる活動に取り組みました。初めての経験に緊張する1年生、後輩を見守り、見本となって活動する3年生。それぞれの「これから」につながる経験になりました。



B部門 高等部3年生



「ハイサイ!」4月26日(水)～28日(金)の三日間、B高3年生は修学旅行へ行きました。目的地は沖縄。飛行機の離陸と共に拍手が鳴り響く中、ワクワクを胸に空の旅をしました。現地ではシーサーの絵付け体験をしたり、美ら海水族館を見て回ったりして沖縄の文化や観光を体で感じてきました。滞在したホテルでは事前学習でも練習したビュッフェスタイルでの会食。各々、好きな沖縄料理を堪能しました。



事後学習では写真や動画で思い出を振り返りながら絵日記や体験記をつくり、美術で様々な魚をデザインして教室に掲示するなど、余韻を楽しみました。

地域連携係からのお知らせ



7月7日に海老名市手をつなぐ育成会から11名の方が、学校見学に来ました。その際、本校の食品加工・喫茶班の生徒がティーサービスを行いました。写真は、注文を取っているところです。

今年度から少しずつ、コロナ以前のような地域との交流が戻りつつあることを感じました。

